

1. 会議

1.1 総会

第53回定時社員総会を2025年5月30日(金)に大阪で開催した。主要な議案は、2024年度事業報告と決算報告、2025年度事業計画と事業予算である。

1.2 諮問会

第14回諮問会を2025年4月24日にパシフィコ横浜にて開催した。諮問会では上記総会に提出する議案について報告し、幅広く諮問員に意見を伺った。

1.3 理事会および運営審議会

理事会を2回(第130,131回)、運営審議会を2回(第37,38回)開催した。総会および諮問会への提出議案、学会運営等について審議した。

1.4 賞選考委員会

第30回賞選考委員会を2025年4月7日に開催し、第49回レーザー学会業績賞(論文賞、進歩賞)及び奨励賞を審議した。学術講演会第45回年次大会実行委員会が論文発表賞の選考結果を、第17回産業賞選考委員会が産業賞の選考結果を、賞選考委員会に報告した。

また、第18回産業賞選考委員会を開催し、第18回産業賞の選考を行った。第46回年次大会実行委員会が論文発表賞の選考を行った。

2. 事業, 行事計画

実施する事業, 行事計画は以下のとおりとする。

2.1 編集委員会および会誌出版

会誌「レーザー研究」を年12冊(第53巻4～12号および第54巻1～3号)、毎月中旬に発行した。このため、編集委員会を12回(第541～552回)開催し、企画編集、進捗フォロー、次号ゲラ刷りのチェック等を実施した。

2.2 研究委員会および研究会

研究委員会を4回(第266～269回)、研究会を12回(第596～607回)開催した。開催した研究会のうち主催は10回、他学会との共催は2回であった。主催の研究会では資料「研究会報告」を作成し、参加者に販売するとともに、年間購入予約者に頒布した。

2.3 技術専門委員会

技術専門委員会を15件(継続15件)実施した。2024年度活動実績を会誌および学会HPに掲載するとともに、学会HP上に各委員会の設立・継続にあたっての目的を明らかにし、賛同者を募り学会内コミュニティ形成のための基盤作りに努めた。

2.4 総務委員会

総務委員会を7回(第277～283回)開催し、学会の会員状況、会計状況、事業計画の進捗状況を確認した。

2.5 事業委員会

事業委員会を1回開催し、レーザーEXPO実行委員会、レーザー安全セミナー実行委員会、認定事業実行委員会、夏の展示会イベント実行委員会の活動結果、および次年度計画を確認した。レーザーEXPO実行委員会はレーザーEXPOおよびレーザー技術セミナーを、レーザー安全セミナー実行委員会はレーザー安全セミナーを、認定事業実行委員会はレーザー技術認定に関する講習会・試験と認定を、夏の展示会イベント実行委員会はセミナーおよび講演会を企画・実施した。

2.6 学術講演会年次大会

第46回大会は、併設展示会「Laser Solution 2026」と併せ、2026年1月13日(火)～15日(木)の平日に、ATC(大阪市)にて開催した。シンポジウムは11テーマを企画、国の施策を反映したテーマで特別シンポジウムを実施した。参加者は882人、講演数は514件であった。

2.7 国際交流

Optics & Photonics International Congress(OPIC) 2025が2025年4月21日(月)～25日(金)の期間、パシフ

イコ横浜にて開催された。14の専門会議が開催され、うち Advanced Lasers and Photon Sources Conference (ALPS)と Optical Wireless and Fiber Power Transmission Conference (OWPT) を弊会が主催した。

2.8 人材育成

レーザー技術の基盤の拡大と普及を目指して下記の活動を実施する。

(1) レーザー技術セミナー・講演会

“レーザーEXPO2025”に併設して、2025年4月23日～25日にレーザーの基礎、応用技術、および最新トピックスを網羅したレーザー技術セミナーを開催した。

“光・レーザー関西 2025”において、2025年7月16日に夏季講演会を、2025年7月17日に夏季レーザー基本セミナーを開催した。

(2) レーザー技術認定

“レーザーEXPO2025”において、2025年4月23日にレーザー基本技術に関する講習会および試験を実施し、合格者には「レーザー技術認定」の認定証を授与した。

(3) レーザー安全セミナー

“InterOpto2025—光とレーザーの科学技術フェア”において、2025年11月12日に第6回レーザー安全セミナーを開催した。修了者には学会より受講証を発行した。

(4) レーザー夏の学校(レーザー学会共主催、日本光学会協賛)

光・レーザー分野の研究に携わる学生及び若手研究者の交流、研究意識向上を目的として、当学会として教育及び学術交流の観点から本行事に支援を行った。第32回レーザー夏の学校は2025年9月27日～28日の期間、SORA RINKU(大阪府泉南市)にて開催され、67名の参加者があった。

2.9 展示会

下記の展示会を開催する。

(1) レーザーEXPO 2025

レーザー機器の展示会“レーザーEXPO2025”をパシフィコ横浜展示ホール(横浜市)にて開催(2025年4月23日(水)～25日(金))した。

(2) Laser Solution 2026

第46回年次大会(ATC)において、レーザー機器、書籍等の展示会“Laser Solution 2026”を併催し、24社の出展があった。

2.10 表彰、認定

第49回レーザー学会賞(業績賞・論文賞、業績賞・進歩賞、奨励賞)、学術講演会第45回年次大会論文発表賞および学会活動に貢献のあった者の表彰を行った。レーザー関連技術及び事業において顕著な功績のあった者を表彰する第17回レーザー学会産業賞(優秀賞、奨励賞、貢献賞)の表彰を2025年4月24日(木)に“レーザーEXPO2025”会場にて行った。

2.11 支部活動の展開

支部活動の活性化による地域の状況に応じた会勢拡張と位置付けて、国内6支部にて、地域の会員へのレーザー関連学術情報提供サービス推進のため、単独および他学会支部との共催によるセミナー、研究会、講演会開催、情報交換、支部表彰等の活動を推進した。

2.12 関連学協会等との連携および協力

国内他学会、研究団体および関連業界との共催、協賛、後援による研究会、講演会等の開催を通じて、関係団体との連携、協力を推進した。

3. その他

3.1 会員動向(年度比較)

賛助口数は昨年より減少したが、大きな減少はなく推移。会員数は前年度から増加。特に、学生会員が増加。会員数の月別推移から、年次大会の影響が大きいことがわかる。民間の会員数は375名で、昨年度(386名)と同程度に推移。

2025, R7 年度(2026 年 3 月)

個人会員 1326 名(正会員 1,087 名、学生会員 233 名、名誉会員 6 名), 賛助会員 97 社(119.75 口)

(参考)

2024, R6 年度(2025 年 3 月)

個人会員 1,253 名(正会員 1,097 名、学生会員 150 名、名誉会員 6 名), 賛助会員 98 社(121.25 口)

2023, R5 年度(2024 年 3 月)

個人会員 1,271 名(正会員 1,093 名、学生会員 172 名、名誉会員 6 名), 賛助会員 93 社(116.25 口)

2022, R4 年度(2023 年 3 月)

個人会員 1,247 名(正会員 1,081 名、学生会員 159 名、名誉会員 7 名), 賛助会員 94 社(117.25 口)

2021, R3 年度(2022 年 3 月)

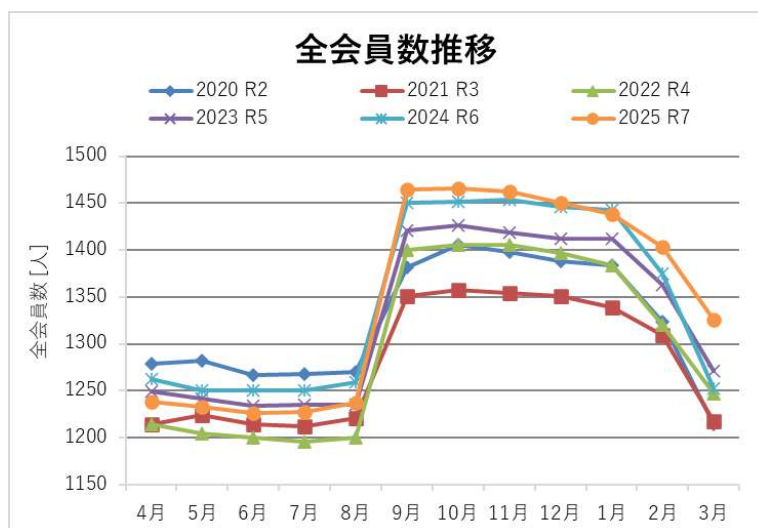
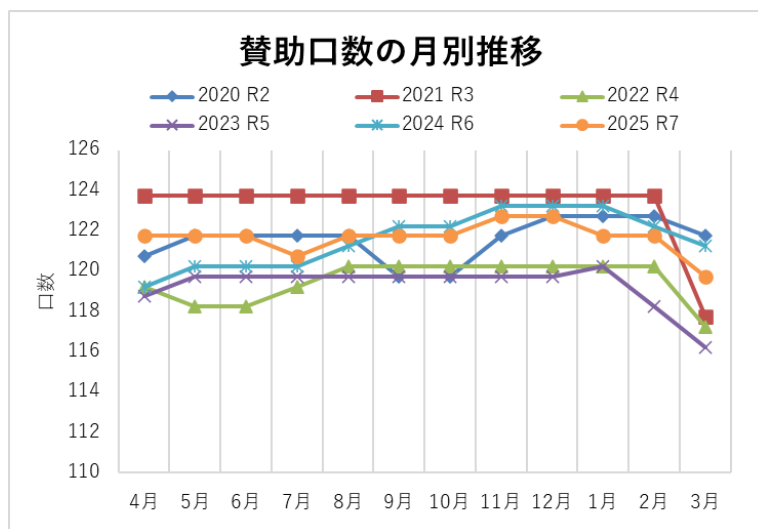
個人会員 1,218 名(正会員 1,094 名、学生会員 118 名、名誉会員 6 名), 賛助会員 94 社(117.75 口)

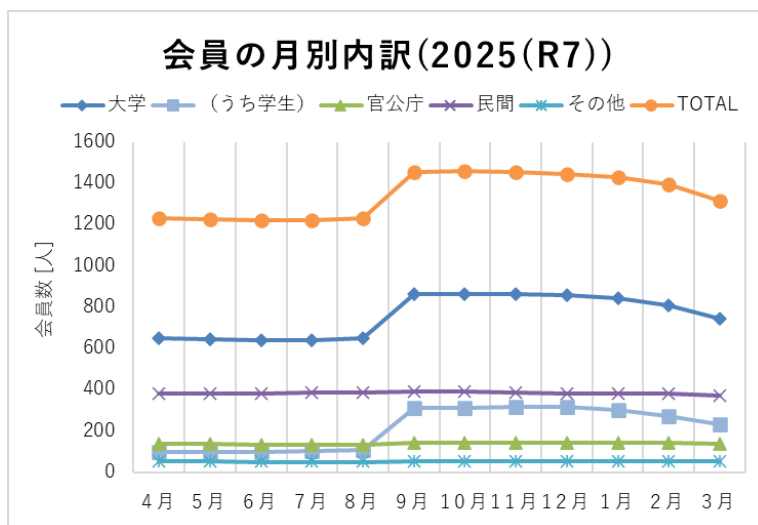
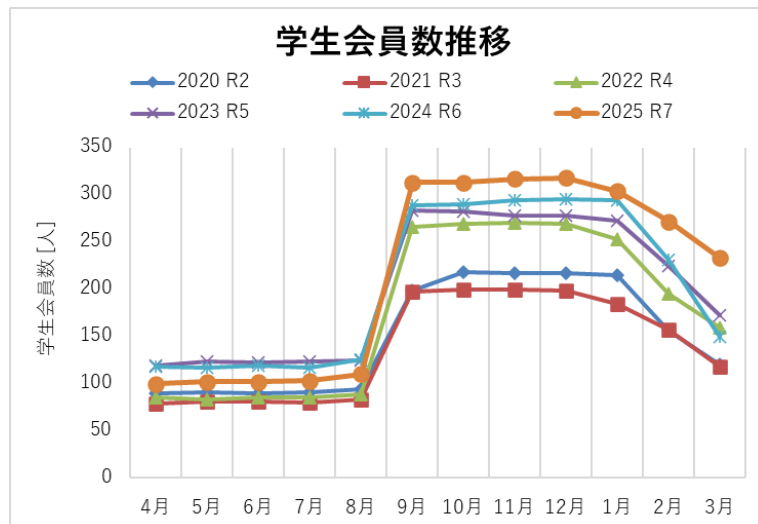
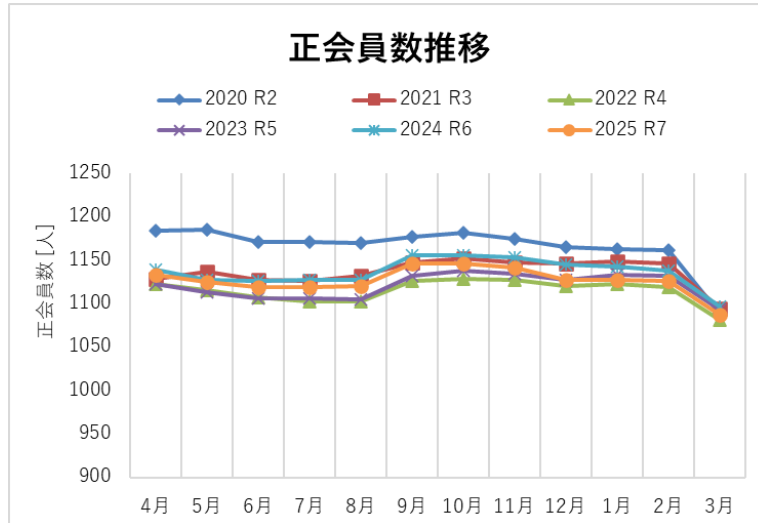
2020, R2 年度(2021 年 3 月)

個人会員 1,214 名(正会員 1,088 名、学生会員 120 名、名誉会員 6 名), 賛助会員 97 社(121.75 口)

2019, R1/H31 年度(2020 年 3 月)

個人会員 1,269 名(正会員 1,132 名、学生会員 132 名、名誉会員 5 名), 賛助会員 93 社(117.75 口)





2026年3月末現在の会員の内訳

